

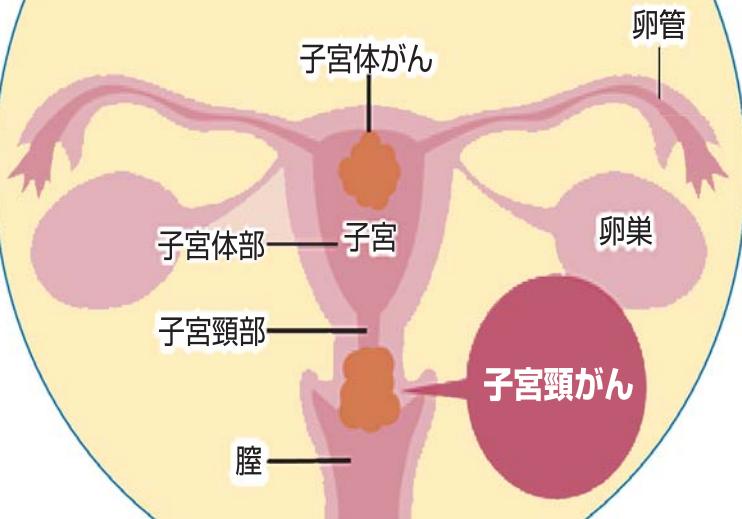
子宮頸がんは検診で予防できるがんです

～あなたの子宮、命を守るのはあなた自身です～

子宮がんには**子宮頸がん**と

子宮体がんがあります

子宮頸がんは子宮の入り口にできるがんです

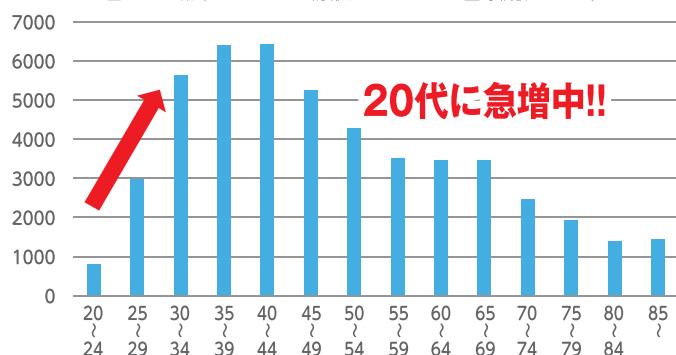


子宮頸がんにかかる人は、女性のがんの中で比較的多く、主に20代～30代の若い女性に増えています。検診では、がんになる前の細胞の異常を見つけることができます。

	子宮頸がん	子宮体がん
部位	子宮頸部 (子宮の入り口)	子宮体部 (子宮の奥)
好発年齢	主に 20～40代 に発症	主に50～60代 (更年期～閉経後)
原因	ヒトパピローマウイルス (HPV)	ホルモンバランス の異常など
自覚症状	ほとんどなし	主に不正出血

年齢別罹患数(上皮内がん含む)

国立がん研究センターがん情報サービス がん登録統計2015年



原因は

HPV

ヒトパピローマウイルス

感染経路は

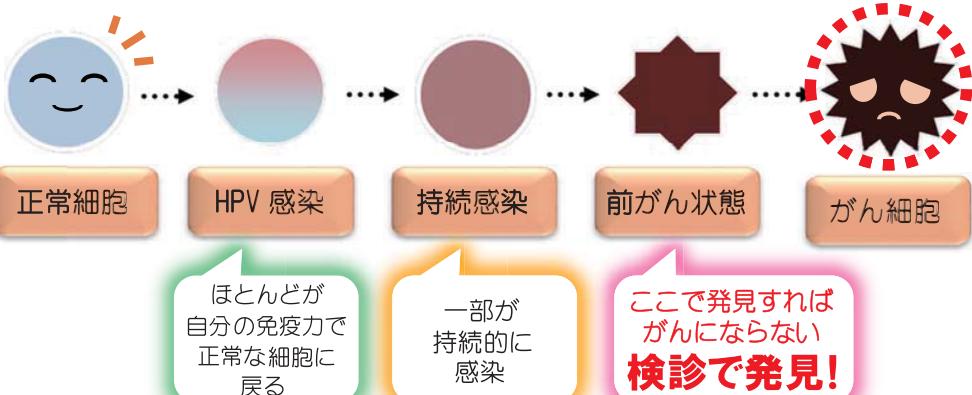
性交法

ヒトパピローマウイルスは皮膚や粘膜に存在するごくありふれたウイルス

性交渉の経験があれば誰でも感染する可能性がある

感染しても自覚症状はほとんどない

●正常な細胞が子宮頸がんになるまで…●



子宮頸がん 早期発見による メリット

- 子宮を残す手術ができる将来の妊娠・出産が可能
- 身体的、経済的負担の少ない治療で済むことが多い

検診内容

問診

検診結果判定のための大
切な項目です。



視診

子宮頸部の状態を観察します。



細胞診

専用のブラシで子宮の入り口から細胞をこすって採取し、顕微鏡で調べます。



内診 経腔超音波検査

(補助診断)

子宮・卵巣・子宮周辺の検査です。

検査後、少し出血することがあります。

生理中でも検診は受けられます。

結果が届いたら…

要精密検査

必ず医療機関を受診しましょう

異常なし

次回の検診を受けましょう

組み合わせて検査します！

細胞診

コルポスコープ診

HPV検査

組織診

他にも… 超音波・MRIなど…

気になる症状がある時は… ✖ 検診ではなく

医療機関を受診しましょう！

○不正出血（月経以外の出血） ○月経異常（長引く・量が多い）

○異常なおりもの（量や色の変化） ○下腹部の痛み・不快感など

がん検診にはメリットとデメリットがあります

メリット（利益）

- 早期発見・早期治療により命を守る（がん死亡の減少）
⇒・体にやさしい・治る確率が高い・治療費が軽減
- 子宮頸がんになる前（異形成）の段階で発見・治療することで予防可能
- 検診で「異常なし」と確認ができる安心

デメリット（不利益）

- 検診ですべての子宮頸がんが見つかるわけではありません（偽陰性）
⇒ 画像等の検査で見つけにくい形や場所に発生する場合や進行が速いがん
- がんがなくても、検診の結果が「精密検査」となる場合があります（偽陽性）

精密検査の結果はがん検診の質を保つ精度管理（検診の評価）に活用されます

精密検査の結果は、検診の精度向上のため、医療機関と情報連携します

また、その結果は実施主体（市町村や事業所）と共有します（これは個人情報保護法の第三者提供の制限の例外事項として認められています）

これらのことご理解のうえ、検診をお受けください

子宮頸がんを正しく理解し、定期的な検診を受けましょう